

桑原郡

東諸縣郡、南桑原郡、西始良郡、北薩摩郡ニ分界ス、郡内牛山、太良、菱刈ノ三郷ヲ置ク、
〔續日本紀十〕天平勝寶七歲五月丁丑、大隅國菱刈村浪浮九百三十餘人、言欲建郡家許之、

〔地理纂考十九〕桑原郡

和名抄曰、大隅國桑原郡、同書ニ大隅國桑原良、國府、後紀ニ、桑原郡蒲生驛、延喜式、桑原郡鹿兒島神

社ナド、見ヘタリ、大隅國ハ始メ肝屬大隅、贈於始羅ノ四郡ナルヲ、桑原郡ヲ置レシハ史ニ漏タ

リ、委シクハ大隅國、東贈於郡、西始羅郡、北菱刈郡ニ接シ、南面ハ海ニ對ス、郡内吉松、橫川、栗野、踊國

府ノ五箇郷ヲ置ク、

〔麿藩名勝考二〕贈於郡舊作襲曾添贈於皆古之襲國也、和名鈔贈

〔地誌纂考十七〕贈於郡

此郡名ハ、日本紀ニ、襲高千穗峯トアル襲ヨリ出タリ、景行天皇紀ニ、悉平襲國トアル襲國ノ遺

稱ニテ、和名抄ニ、大隅國贈於曾トアル是也、贈於トアルハ、紀國ヲ紀伊、穎ヲ穎娃ト書ルナド、

同ジ、東北日向諸縣郡ニ界ヒ、南大隅郡ニ連リ、西北桑原郡ニ接ス、郡内八ヶ郷ヲ置ク、襲山、清水、

恒吉、市城、

〔地名字音轉用例〕韻ノ音ノ字ヲ添タル例

そ 贈於郡曾於 書紀ニ襲國トアル是也、サレバ曾ト注スベキ例ナルニ、曾於ト注セルハイ

カ、

〔古事記上〕伊邪那岐命略、妹伊邪那美命略、御合略、次生筑紫國、此島亦身一而有面四、每面

有名、故略、熊曾國、謂建日別曾字

〔日本書紀二〕皇孫乃離天磐座天磐座、此云阿羅、且排分天八重雲、稜威之道、別道、別而、天降於日向

襲之、高千穗峯矣、既而皇孫遊行之狀也者、則自穗日二上天浮橋、立於浮渚、在平處略、而舊穴之